

令和4年度病害虫発生予察注意報第2号

令和4年6月2日
鳥取県病害虫防除所

注意報の概要

本年は4月中～下旬の孢子飛散量が平年に比べて多く、5月下旬現在、それらの影響と考えられるナシ黒星病の病斑が認められている。今後、本病の発生に好適な条件になることが見込まれ、‘新甘泉’や‘幸水’等では袋掛け前の感染により収穫果の被害発生が懸念されるため、防除を徹底する必要がある。

病害虫名：ナシ黒星病

- 1 対象作物 ニホンナシ
- 2 発生地域 県下全域
- 3 発生時期 平年並
- 4 発生量 多い

5 注意報発令の根拠

- (1) 本年の4～5月におけるナシ黒星病の子のう孢子及び分生子の飛散推移は、本病の発生の助長要因である（表1）。
- (2) 一部の地域において、発生量の多い園が認められている。また、5月中旬に実施した県内13地点の巡回調査の結果、複数の園で発生が認められた。
- (3) 中国地方では、6月5日以降、かなりの低温になると予想されている（5月30日、広島地方気象台発表）。
- (4) 向こう1か月の気象予報（5月26日発表）から、今後、ナシ黒星病の発生に好適な条件になると考えられる。

6 防除上注意すべき事項

- (1) 発病した葉や幼果等（図1）は伝染源となる。定期的に園内を見廻り、発病部位を見つけ次第切除して園外処分する。
- (2) 赤ナシの有袋栽培では、袋掛け直前に必ず薬剤散布を行って速やかに袋掛けを行う。特に、果実感受性の高い品種では6月上～中旬を目安に袋掛けを終える。
- (3) ‘新甘泉’、‘幸水’及び‘王秋’等の果実は7月上～中旬頃まで黒星病に対する果実感受性が高い。
- (4) 現在発生量が多い園では、発病部位の切除処分を実施した上で表2の薬剤を散布する。なお、DMI剤を用いる場合は必ず保護殺菌剤を混用して散布する。散布にあたっては、農薬の使用基準を遵守するとともに、使用上の注意事項を守る。
- (5) 定期防除の散布間隔が長くなるように注意し、降雨量が多い場合は追加散布を検討する。

表1 県予察ほ場における半旬別の孢子飛散量とその推移

月・半旬	子のう孢子 ^{a)} (個)		分生子 ^{b)} (個)	
	本年	平年 (H28~R3)	本年	平年 (H24~R3)
4・3	305	15.5	36.9	6.5
4・4	2	6.0	— ^{c)}	6.2
4・5	59	54.3	47.1	35.2
4・6	62	3.7	48.4	15.1
5・1	0	1.3	— ^{c)}	11.0
5・2	1	0.2	2.0	21.1
5・3	1	0	6.2	8.4
5・4	0	0	— ^{c)}	18.2
5・5	0	0	10.0	70.5
5・6	0	0	75.1	14.6

^{a)}罹病落葉100枚あたりの孢子数。

^{b)}採取された雨水あたりの孢子数。

^{c)}無降雨のため調査未実施。



幼果



葉身



葉柄

図1 ナシ黒星病の病斑

表2 ナシ黒星病の主な防除薬剤と農薬使用基準*

作物	薬剤名	希釈 倍数	使用時期	本剤の 使用回数	FRAC コード**	薬剤グループ
ナシ	アンビルフロアブル	1,000～ 2,000	収穫7日前まで	3回以内	3	DMI
	スコア顆粒水和剤	2,000～ 4,000	収穫14日前まで	3回以内		
	ファンタジスタ顆粒水和剤	3,000～ 4,000	収穫前日まで	3回以内	11	QoI
	ナリアWDG	2,000	収穫前日まで	3回以内	11+7	QoI+SDHI
	カナメフロアブル	4,000～ 8,000	収穫前日まで	3回以内	7	SDHI
	チウラム水和剤 (チオノックフロアブル又は トレノックスフロアブル)	500	収穫30日前まで	5回以内	M3	ジチオカー バメート及 び類縁体
	オキシラン水和剤	500～ 600	収穫3日前まで	9回以内	M1、M4	無機化合物 +フタルイ ミド
	有機銅水和剤 (キノンドーフロアブル又は ドキリンフロアブル)	1,000	収穫3日前まで	9回以内	M1	無機化合物
	キャプレート水和剤	600～800	収穫7日前まで	4回以内	M4、1	フタルイミ ド+MBC殺 菌剤
ベルコートフロアブル	1,500	収穫14日前まで	5回以内	M7	ビスグアニ ジン	

*農薬の登録内容は令和4年5月25日現在

**FRACコードは殺菌剤の作用機構の分類を示す。

(お問合せ先) 鳥取県病害虫防除所(鳥取県園芸試験場内、TEL:0858-37-4211)



この情報は、鳥取県病害虫防除所ホームページでも公開しています。

アドレスは、<http://www.jppn.ne.jp/tottori/> です。

ホームページ2次元コード